

<b>科目名</b>	特別研究指導演習	<b>科目コード</b>	8049	<b>単位数</b>	2
<b>担当者名</b>	島津 望	<b>開講時期</b>	2 後	<b>開講年次</b>	2年次

## ● 授業の到達目標及びテーマ

修士論文の完成。既存の研究水準を踏まえ、新たな発見がある修士論文作成を指導する。

## ● 授業の概要

副指導教授の立場から、指導教授とともに、究指導を行う。これまでの研究水準を理解し、そのレベルにおいて、オリジナリティのある独創的な論文の作成を指導する。問題意識（研究目的・課題等）が明確で、論旨（全体の整合性等）が明確である論文に仕上げるよう指導する。論文が使用しているデータの信頼性、調査方法の妥当性について指導する。

## ● 授業計画

- 1週目 指導教授とともに学生個々人の修士論文作成の準備状況をチェックする。
- 2週目 指導教授とともに学生個々人の修士論文作成の準備状況をチェックする。
- 3週目 指導教授とともに学生個々人の修士論文作成の準備状況をチェックする。
- 4週目 研究テーマに関する副指導（研究目的の明確化、論文の構想及び構成など）。
- 5週目 研究テーマに関する副指導（研究目的の明確化、論文の構想及び構成など）。
- 6週目 研究テーマに関する副指導（研究目的の明確化、論文の構想及び構成など）。
- 7週目 研究テーマに関する副指導（研究史の総括、関連文献リーディングの状況、資料・文献の収集状況など）。
- 8週目 研究テーマに関する副指導（研究史の総括、関連文献リーディングの状況、資料・文献の収集状況など）。
- 9週目 研究テーマに関する副指導（研究史の総括、関連文献リーディングの状況、資料・文献の収集状況など）。
- 10週目 研究テーマに関する調査・研究方法の副指導（信頼性、妥当性など）。
- 11週目 研究テーマに関する調査・研究方法の副指導（信頼性、妥当性など）。
- 12週目 研究テーマに関する調査・研究方法の副指導（信頼性、妥当性など）。
- 13週目 修士論文の概要（目次作成を基本）の作成副指導。
- 14週目 修士論文の概要（目次作成を基本）の作成副指導。
- 15週目 修士論文の概要（目次作成を基本）の作成副指導。
- 16週目 総括。

## ● テキスト

必要に応じて指定する。

## ● 参考書・参考資料等

各自の研究テーマに応じて、適宜紹介する。

## ● 成績評価の方法・基準

修士論文の研究水準などによって評価する。

## ● 更新日付

2019/01/22 10:41